

仏壇の中に壁を作るべきでしょうか？



●Answer

沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職
 帰依 龍照(きえりゅうしょう)



Q 実家の仏壇には、なぜかトートローマー

(位牌)が3個あります。香炉や花瓶なども3組あります。親戚のおばさんから「昔から、仏壇にトートローマーは1個と決まっているから、中に壁を作って3個の仏壇にしない」とアドバイスをされました。別のおばさんからは「仏壇に壁なんか作ったら、お家がふさがれて繁盛しないよ」と叱られました。どちらが正しいのですか？

(石垣市・Iさん)



A Iさん、沖縄では、どちらも正しいと思います(笑)。ウヤファーフジ

(「先祖」のことを思えばこそ)のアドバイスでしょうから。そのアドバイスをしようから。

沖縄のトートローマーには、1人(あるいは一組の夫婦)を祀る「一本立ち位牌」や、複数の位牌札を横に並べた「沖繩式位牌」などがあります。「一本立ち位牌」が1個⇨1柱(ひとはしら)ある仏壇のことを、地域によつては「ティーチウグワンス(一柱仏壇)」と呼びます。2柱でしたら、「ターチウグワンス(二柱仏壇)」。Iさんのご実家は3柱ですから、「ミーチウグワンス(三柱仏壇)」ということになりませぬ。私は、9柱の「ククスチウグワンス(九柱仏壇)」を拝見

したのが最高記録です。

親戚のおばさんの「壁を作って3個の仏壇にしない」というアドバイスは、「グソーンヌ ジョーミチヲ

ワカス(後生の門道を分ける)」という考え方の表れだといわれています。例えば、ウヤファーフジの法事や命日のとき、ヒラウコー(平御香)をお供えしても、その焼香が、複数いらつしやるウヤファーフジのうち、どなたへの敬いなのか分からないと困るので、中に壁を作つてジョーミチ(門道⇨入り口のこと)を分け、受け取られる方をはつきりさせましようという意味があるといわれています。

壁を作る方法としては、隣り合うトートローマーの間に、①ベニア板や段ボールで、簡易的に壁を設置する方法 ②大工さんに依頼して、本格的に壁を設置する方法があり、壁を設置する場所は、

- ① 仏壇の最上段のみ
 - ② 仏壇の最上段と上から二段目まで
 - ③ 仏壇の最上段から上から三段目まで
- など多種多様です。

以上は、複数あるトートローマーに対して、1個のウコール(香炉)で焼香するときの方法です。

一方、Iさんのご実家の

ように、3柱のトートロー

マーに3個のウコールがあるときには、トートローマーとウコールが、きちんと対になっていきますので、どのウヤファーフジに焼香しているのかすぐに分かります。

この場合、実際の壁はなくとも、目に見えないヒンブ(目隠しや区切りの意)のような壁があると考えられています。そのため、壁を作るケースには該当しないとされる地域もあります。

別のおばさんからの「仏壇に壁を作つたら、お家がふさがれて繁盛しないよ」というアドバイスは、「壁を作らない方法もあるのよ」という意味で、愛情表現の一つとして、ありがたく受けとめておきましょう。

トートローマーが複数あるのは、チョーデーカサバイ(兄弟重合⇨兄・弟を一緒に祀ること)や、アジカイグワンス(預かり仏壇⇨本来祀られるべきではないけれど、諸事情により一時的に祀られていること)など、各家庭によつて、それぞれの事情があつてのことかと思われませぬ。

今回の回答としましては、ご実家の仏壇に壁は作らず、現状維持のままでもよろしいかと思ひます。

この、仏壇の中に「壁を作る／作らない」という考

え方のように、アドバイス

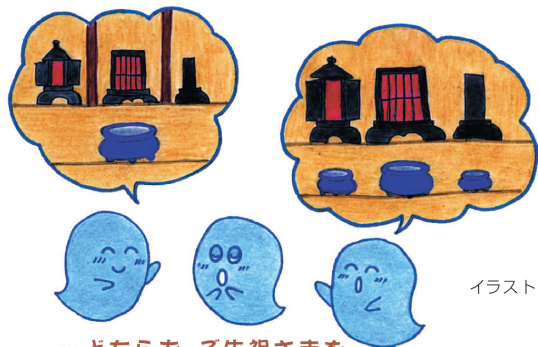
の内容が正反対に分かれることがあるのは、「ウヤファーフジを大切にしたい」という沖縄の人々の思いの強さにつながっていると思ひます。

「どの敬い方が正しいのでしょうか？」と、消去法で判断するよりも、「どの敬い方が望ましいのでしょうか？」と、いったん全てを肯定して、○の中から、よりよいものを選択して「◎」と位置づけてみましょう。

そうすれば、どの敬い方にもそれぞれの意味があることに気づき、沖縄の先人のジンブン(知恵)の深さを理解できるかと思ひます。

「香炉がひとつなら、壁を作つた方がいいよ〜」

「トートローマーと香炉が対になっているなら、大丈夫よ〜」



イラスト：帰依ひろ子

…どちらも、ご先祖さまを
 思う気持ちを感じるねえ…